

資料 6

平成 28 年度障がい者虐待防止対策支援事業について

1. 実施概要

【目的】障がい者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援のため、地域における関係行政機関、障がい者等の福祉、医療、司法に関する職務に従事するもの又は関係する団体、地域住民等の支援体制の強化や協力体制の整備を図る。

【実施体制】市内 11 事業所に虐待防止センターを設置し、業務を実施。

2. 平成 28 年度障がい者虐待の現状について

① 虐待類型別通報・相談件数の推移

(単位：件)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
養護者虐待（その他同居家族等も含む）	43	34	21
施設従事者虐待	10	7	8
使用者虐待	1	2	1
計	54	43	30

表 1 虐待類型別通報・相談件数

年間の虐待通報・相談件数は減少傾向にある。

平成 28 年度の件数を虐待類型別にみると、養護者虐待が全体の約 7 割を占めている。

② ①のうち虐待として認定された件数の推移

(単位：件)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
養護者虐待（その他同居家族等も含む）	19	12	8
施設従事者虐待	4	0	0
使用者虐待	1	1	0
計	24	13	8

表 2 表 1 のうち、虐待として認定された件数

平成 26 年度から平成 28 年度までの過去 3 年間の推移をみると、全体として障がい者虐待として認定された件数は減少傾向にある。

③ 養護者虐待について 平成 28 年度 虐待認定件数 8 件

ア 虐待の通報者について

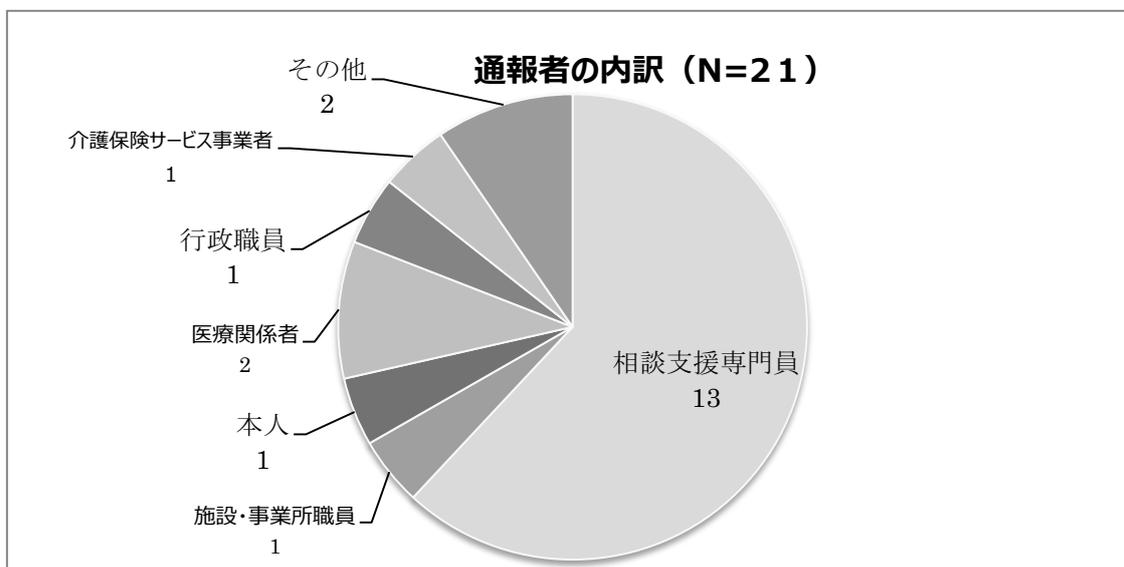


表 2 養護者虐待における通報者の内訳 (重複あり)

養護者虐待における通報者は「相談支援専門員」が 13 件で半数以上を占めた。日頃から被虐待者の悩みや家庭環境等に関わるサービス提供事業所等の関係者が通報者となっていることがわかる。

イ 虐待の類型について

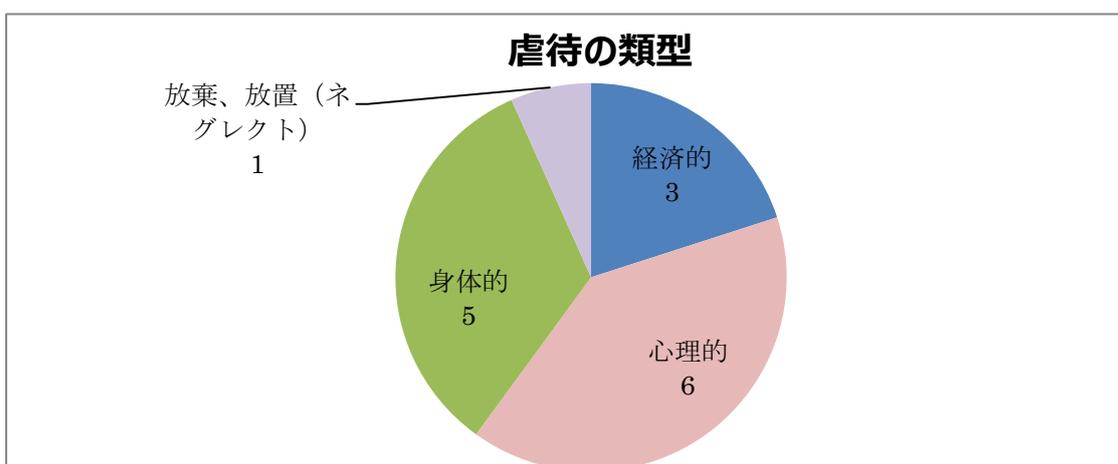


表 3 虐待の類型

平成 28 年度は、入居しているアパートの管理者より、身体的・心理的虐待を受けていたケースが 2 件あった。虐待の類型では、「心理的虐待」と「身体的虐待」等の複数類型が多かった。

ウ 被虐待者の年齢

年齢	人数（人）
18～29 歳	2
30～39 歳	0
40～49 歳	1
50～59 歳	4
60 歳以上	1

表 4 被虐待者の年齢

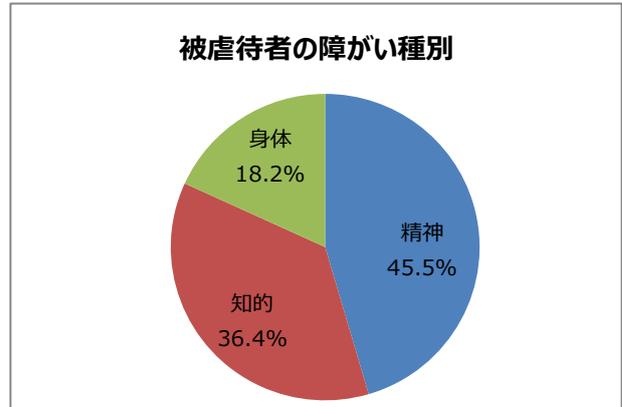


表 5 被虐待者の障がい種別

被虐待者の年齢は幼少期、学齢期の実績はなく、50代が多い。障がい種別についてみると、精神障がいが多い。

エ 被虐待者から見た虐待者の続柄

続柄	人数（人）
父	2
母	2
息子	1
兄弟姉妹	3
その他	2

表 6 被虐待者から見た虐待者の続柄（重複あり）

表 6 から虐待者のうち、最も多かったのは「兄弟姉妹」、続いて「父」「母」によるものであった。

オ 虐待の要因、環境について

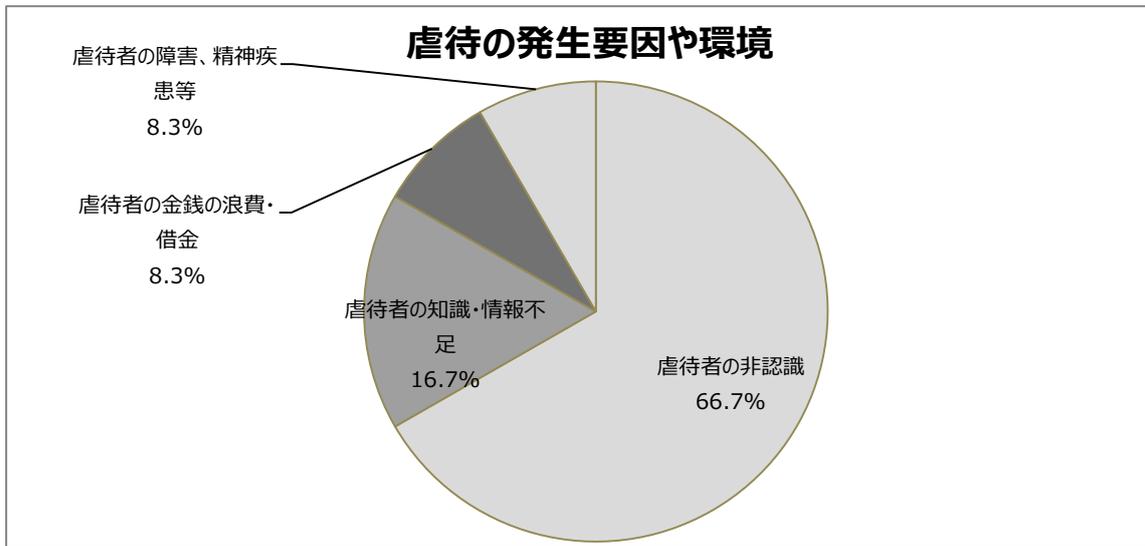


表 8 虐待の発生要因や環境について

表 8 を見ると、「虐待者の非認識」が 6 割以上を占めた。

虐待者自身が虐待であることを認識していないことや、虐待についての知識・情報を得ていないこと、さらには虐待者自身が抱える借金等の金銭問題を起因として虐待が発生していることがうかがえる。

カ 養護者虐待の分離の状況

養護者虐待として認定した件数	8		
うち、分離した件数	2	→	契約による福祉サービスの利用 2
うち、分離していない件数	6	→	精神科病院に長期入院中 (面会制限を行った) 1 その他 (新たな障がい福祉サービスの利用、 サービス等利用計画の見直し など) 5

表 9 養護者虐待の分離の状況

平成 28 年度中に発生した養護者虐待について、分離を行ったケースは 2 件で、措置入所契約による福祉サービスの利用であった。

また、分離を行っていない場合も再発防止のための定期的な見守りの実施により被虐待者の安全確保に努めている。

④ 利用者虐待について 平成 28 年度虐待認定件数 0 件

⑤ 虐待案件の終結状況について

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
虐待件数	24	13	8
終結件数	16	7	3
継続件数	8	6	5
終結率	66.7%	53.8%	37.5%

平成 25 年度からの終結率は減少傾向にあり、案件が長期化していることがうかがえる。

また、虐待の状況が安定している場合は見守り体制を確認し、終結会議により終結させることも重要である。制度開始 4 年半が経過し、ケース管理のあり方を検討する必要もある。

3. 平成 28 年度虐待防止講演会の開催

【日時】平成 29 年 2 月 10 日（金）

平成 29 年 2 月 11 日（土）

【会場】清水区役所 ふれあいホール他

【内容】「自閉症の特性と行動支援フレームワーク」

1 日目 ①講演 ②ワークショップ

2 日目 ワークショップ

講師 社会福祉法人つつじ所属 水野 敦之氏

（広島県地域支援マネジャー）

【受講者】1 日目 157 名

2 日目 92 名